

生命の起源およびアストロバイオロジーに関する国際シンポジウム

小林 憲正

横浜国立大学大学院工学研究院機能の創生部門

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

e-mail: kkensei@ynu.ac.jp

2005年6月27日より7月2日まで、新潟市の朱鷺メッセにおいて、生命の起源およびアストロバイオロジーに関する国際シンポジウム(International Symposium on Origins of Life and Astrobiology; ISOLAB '05)が開催された。ISOLAB '05は、直前に北京で開催された第14回生命の起源に関する国際会議(11th ISSOL Meeting and 14th International Conference on the Origin of Life; ISSOL '05)のポストコンファレンスとして企画されたもので、また、生命の起源および進化学会の第30回学術講演会を兼ねたものである。

2002年のISSOL '02(Oaxaca, Mexico)において、ISSOL '05が北京で開催されることが決定しており、ISSOLの評議員会から、日本においてそのバックアップを計画するようにとの要請があった。これに応じて、ISSOL '05の直後にそのポストコンファレンスを日本で開催すべく、準備を始めた。また、シンポジウムの範囲は、狭義の生命の起源分野に限らず、アストロバイオロジーの諸テーマも含めることにした。アストロバイオロジーは、20世紀末に提唱された、生命の起源・進化・分布・未来を扱う新しい学際領域である。生命の起源および進化学会のメンバーを中心に、学会外のアストロバイオロジー関連研究者を加えた組織委員会をつくり、数度にわたり新潟および東京での組織委員会を開催して、シンポジウムのアウトラインを決定した。その結果、生命の起源およびアストロバイオロジーの主要テーマを選び、このテーマをもとに招待講演および一般講演・ポスターを配置する形で行うことにした。シンポジウムテーマは：

1. Chiral Homogeneity and D-Amino Acids
2. Mars and Titan
3. SETI and Civilization of Other Planets
4. From Molecules to Life-Like Systems and RNA World
5. Submarine Hydrothermal Systems
6. Life under Extreme Environments
7. Chemical Evolution
8. Coevolution of Earth and Life
9. Extrasolar Planetary Systems
10. Complex Biotic and Genetic Systems

の10テーマとした。

大会は6月27日(月)の参加登録とミキサーでスタートした。翌28日(火)の朝、Prof. Gyula PalyiのPlenary Lectureを皮切りに、7月1日(金)までの4日間の科学セッションが行われた。Fig. 1はポスターセッションのスナップである。詳細については、次号、各オーガナイザーによるレポートが予定されているので、そちらをご覧いただきたい。

会期中の6月30日(木)午後には、Excursionが催された。参加者は外国からの参加者を中心に10名余りと少数であったが、北方文化博物館やしろね大風呂と歴史の館などを巡ったが、特に後者では実際に風呂揚げが体験でき、好評であった(Fig. 2)。また、科学セッション終了後の7月1日(金)の夜、ホテル日航新潟において、Banquetが開催さ

れた。

7月2日(土)には、同じ朱鷺メッセにおいて公開講演会を開催した。松井孝典氏(東京大学)の「地球の普遍性(生命, 文明)を宇宙に探る」、大島泰郎氏(共和化工)の「生命科学からETを考える」の2講演が行われた。さらに追加行事として、7月15日(金)と16日(土)に、新潟大学においてポストシンポジウム「宇宙および地球上における生命の起原と進化」も開催された。

今回のシンポジウムは、ISSOLにあわせて開催時期を決定したため、開催日時や予算の面ではいろいろと問題が生じた。しかし、手弁当で働いていただいた多くの組織委員やセッションオーガナイザーの方、ボランティアの方、招待講演者の方などに助けられ、科学的には有意義で成功であったと思う。また、日本での生命の起源とアストロバイオロジー関連の研究者が一同に集まる機会ができ、この分野の日本の、あるいは欧米とのネットワークを作るよい契機となったと考えられる。



Fig. 1 ポスターセッションのひとこま



Fig. 2 エクスカーションのひとこま